

千代の庭、モミジ燃ゆ



生誕126年記念の茶会盛況

岩国市出身の作家、宇野千代（1897～1996年）の生家で25日、生誕126年を記念した「もみじ茶会」があった。冷え込む中、約500人が抹茶を楽しみながら千代が愛した庭で赤く色づいた紅葉をめでた。宇野千代顕彰会の主催。

毎年11月中旬に開催していたが、昨年、葉が青かったため今年から下旬にずらした。来館者は椅子に座り茶道表千家の女性が入れた抹茶を手し、千代の好物だった「いがもち」に舌鼓を打った。長女（35）と訪れた同市錦見の主婦兼子泰子さん（71）は「青空と紅葉した葉との対比が素晴らしい」と堪能していた。島津教恵会長（85）は「千代先生の記憶を思い返しつつ楽しんで

宇野千代の生家の庭で真っ赤に色づいたモミジを楽しむ来館者たち。25日、岩国市川西

令和5年11月27日

山口新聞